

患者の皆様へ

2020年8月20日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「血液維持透析を必要とする肺癌手術患者の臨床的特徴」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当科において肺癌に対し手術を行った患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「血液維持透析を必要とする肺癌手術患者の臨床的特徴」

2. 研究の意義・目的 「透析患者の周術期は、水分電解質異常、創傷治癒遅延、易感染性、凝固異常、心血管病変の合併症などリスクが高く注意が必要です。透析治療を要する肺癌患者が近年増加しており、実際の子後や合併症を調べることで、手術の適応の判断や手術のリスク因子について解析・検討をします。」

3. 研究の方法

当院で肺癌に対して手術を行った患者さんを対象とし、診療録を調査し、臨床病理学的情報（登録番号、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴、画像検査情報、採血結果、肺機能検査、病歴、治療法、治療経過、病理組織診断など）、予後を含めた検討を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究

成果の発表にあたっては、データの匿名化を行い、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器病態外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 鈴木 秀海

043 (222) 7171 内線 5464

